

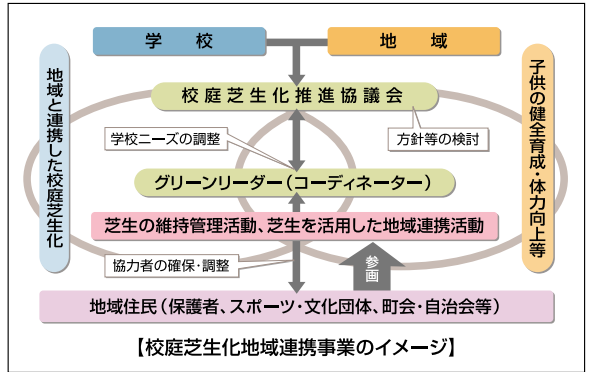
「校庭の芝生化」により 学校と地域の連携の輪が広がっています

～教職員、保護者、地域が一体になって進める葛飾区立東金町小学校の校庭芝生化

いま、都内の公立小・中学校等で校庭の芝生化が進められています。芝生化された学校では、子供たちがいままで以上に活発に活動するようになった、怪我が少なくなった、砂埃が少なくなったなどの効果があげられています。子供たちの教育活動に芝生を積極的に活用していくには、学校、保護者、地域が協力していくしくみづくりが必要です。

都教育委員会では、平成21年度から都内10校で「校庭芝生化地域連携事業」の取組を開始し、地域の参画による芝生の維持管理のしくみづくりを推進するとともに、多様な文化・スポーツ活動を通じて、子供の健全育成や地域の教育力の向上を図る活動を支援しています。

今回、この事業を実施している葛飾区立東金町小学校の校庭の芝生化の取組を紹介します。

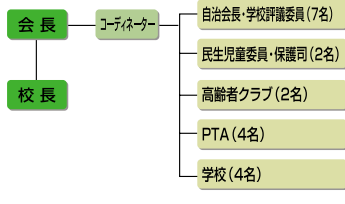


【学校と地域が連携した校庭の芝生化の取組】

東金町小学校（中村孝校長）は平成20年8月に葛飾区内で3番目に芝生化された学校です。トラック部分を残してその周り半分を芝生化し、芝生の養生期間中であっても校庭で子供たちが活動できるようにしています。

校庭の芝生化に当たっては、保護者、地域などに協力を呼びかけ、芝生の活動組織づくりを進めました。学校の評議委員

【東金町小学校グリーンキーパーズ組織図】



の方に「グリーンキーパーズ」の代表をお願いしたこともあり、地域の協力を得た活動が進められています。

また、東金町小学校でグリーンキーパーズの活動が円滑に進められている理由のひとつに、地区の青少年委員の方が地域コーディネーターとして学校と地域の橋渡し役を担っているのが特徴です。

グリーンキーパーズの活動日は原則第2、第4火曜日と第1、3土曜日ですが、夏期と冬期は芝生の成長の状況に合わせて活動日を調整しています。具体的な活動内容等は、学校行事の状況などを見ながら校長、副校長、そして地域コーディネーターが話し合いの上で決めています。芝刈、雑草取りなどの作業は、登録者が活動を行うのではなく、学校と地域コーディネーターが活動の調整後、コーディネーターの方が月1回芝生作業やイベント等のお知らせを掲載した「シバリン通信」を作成し、保護者、自治会関係者等に配布して周知を図っています。

毎回の活動は、自主参加にもかかわらず火曜日は10名程度、土曜日は30名程度の参加があり、特に土曜日は保護者や地域の関係者だけでなく、教員も自主的に参加するなど、芝生の活動が学校と地域の交流にも役立っているようです。

地域コーディネーターの 上田知子さんにお話を伺いました

私は校長、副校長先生といっしょに芝生作業等の調整などを行い、毎月「シバリン通信」を作成、活動日の参加者の把握、名札作成などを行っています。

この活動を通じて、町会・自治会をはじめ地域の関係者の方々と話す機会や触れ合う機会が増えることで、学校と地域をつなげるコーディネーターとして、地域の輪が広がっていくことがとても良かったと思っています。

【芝生を地域コミュニティづくりの核に】

東金町小学校では、学校と地域の連携・交流の輪を一層広げるため、「校庭芝生化地域連携事業」を活用した活動を行っています。

そのひとつが、学年を超えて1年生から6年生をグループにした「たてわり活動」に加え、新たに地域との交流を促進する「うきうきフレンドパーク」を実施しました。グリーンキーパーズ、地域の自治会関係者などを招いて、芝刈作業を実施した後、全員芝生の上で「ふれあいお弁当給食会」を開き、



子供たちと地域の人たちとの異世代間の交流を図りました。今後、近隣の小学校5校、中学校2校の親子を対象に芝生を活用したグラウンドゴルフ大会を実施する予定で、レクリエーション活動の中に芝刈作業もプログラムに入れて、多くの保護者等が芝生の活動に参加するきっかけづくりを図る予定です。

【学校支援ボランティア推進協議会事業の問合せ先】

東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課地域支援係
電話 03-5320-6859 FAX 03-5388-1734